

No.107

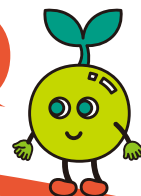
Winter 2024



JA東京あおば HP

あおば

2024年
冬号



〈大人気〉
きじまりゅうた
あおばの台所

【報告】 【特集】

新年のごあいさつ
第17回練馬大根引っこ抜き競技大会開催しました
令和5年度これまでの取り組み経過報告
第3期 NEXT AOBAPJ発足

新年あけましておめでとうございます

代表理事組合長 久保 秀一



組合員ならびに地域の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

昨年中は当JAの各事業ならびに活動に對しまして、ひとかたならぬご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に位置付けられ、コロナ禍前の生活を取り戻しつつあり、当JAでは、第26回JA東京あおば農業祭をはじめ、直売所フェスタ等各地区のイベントを組合員皆さまのご協力のもと実施することができました。

激な円安による生産資材価格への影響が続きました。また、夏から秋にかけての記録的な暑さや頻発する自然災害など、「食」と「農」を取り巻く環境は依然として厳しい状況となりました。昨年は、関東大震災から100年という節目の年であり、住宅の密集する都市部においては、延焼防止機能をはじめとした農地の多面的機能に注目が集まった年でもありました。

いただいたご意見・ご要望を事業活動に反映させる取り組みを行ってまいりました。組合員の皆さまから再開のご要望が多かった「貯金感謝デー」、「年金感謝デー」を再開することができ、各支店の活気が戻ってまいりました。今後も組合員・地域の皆さまに喜んでいただける事業活動を行ってまいります。

はじめとした各部会の支援を行いながら、組織基盤の強化に努めてまいります。

令和6年度は「第9次中期経営計画（農業振興計画含む）」令和4年度～令和6年度―の最終年度となります。本年も役員一丸となり、第9次中期経営計画（農業振興計画含む）を着実に実践してまいります。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。



01 NEWS

令和5年度農業関係各功労章受章

令和5年度農業関係各功労受章者が決定いたしました。受章者は左記のとおりです。受章されました皆さま、おめでとうございます。

◇受章者一覧（敬称略）

（公財）内田農業振興会 紫綬功労章

- 富岡 光男 （下石213）
- 鈴木 裕 （代表理事専務）

板橋区政功労者表彰

- 田中 耕太郎 （大門第2）

練馬区民表彰 農林水産功労表彰

- 神田 玉江 （中村第2）
- 橋本 千恵子 （田柄町）
- 吉野 善一 （本村）
- 本橋 節子 （上石212）
- 関口 秀明 （第23区）

東京都農業会議 農業功労者表彰

- 本橋 政春 （大門第1）
- 小美濃 克之 （第4区）

02 NEWS

各地で農畜産物の共進会・品評会が開催されました

10月に「第52回東京都農業祭」、11月には「第46回板橋農業まつり」、「第26回JA東京あおば農業祭」で農業技術の向上等を目的に農園芸畜産物の共進会・品評会が開催されました。今回は上位入賞者の皆さまをご紹介いたします。（敬称略）

〔第52回東京都農業祭農畜産物共進会〕

- 東京都知事賞 本橋 輝雄 （キヤベツ）
- 庄埜 晃一 （カキ）

〔第26回JA東京あおば農業祭〕

- 農園芸畜産物品評会の部
- 東京都知事賞 井之口 喜實夫（キヤベツ）
- 東京都産業労働局長賞
- 酒井 雅博 （サトイモ）
- 田中 理瑛 （ハクサイ）
- 板橋区長賞 田中 將浩 （ニンジン）
- 練馬区長賞 水橋 宏二 （グリーンシラン）
- 庄埜 晃一 （カキ）
- 加藤 晴久 （ブロッコリー）
- 技術賞 庄埜 晃一 （カキ）

※技術賞は、特賞を3回連続受賞した方に送られる賞です。

〔果樹栽培技術共進会の部〕

- 練馬区長賞 高橋 誠一 （ブドウ）

〔第46回板橋農業まつり共進会〕

〈蔬菜の部〉

- 区長特別賞 田中 將浩 （ダイコン）
- 区長賞 田中 耕太郎（キヤベツ）
- 木村 繁夫 （ダイコン・ハクサイ）
- 會田 幸夫 （キヤベツ）
- 石井 規弘 （ブロッコリー）
- 田中 將浩 （ニンジン）
- 農業委員会会長賞 田中 將浩 （カブ）
- JA東京あおば組合長賞 會田 幸夫 （コマツナ）

〈果樹の部〉

- 区長特別賞 榎本 藤二 （カキ）
- 区長賞 岡田 博 （カキ）
- 榎本 勇 （ミカン）
- 農業委員会会長賞 榎本 勇 （レモン）
- JA東京あおば組合長賞 坂本 健 （カキ）

〈園芸の部〉

- 区長特別賞 杉田 秀昭 （銀八ツ房五葉松）
 - 区長賞 松澤 智昭 （シクラメンジックス）
 - 農業委員会会長賞 松澤 智昭 （ビオラソルベ）
 - JA東京あおば組合長賞 杉田 秀昭 （老爺柿）
- 受賞された皆さまおめでとうございます。

03 NEWS

都市農業の魅力のアピール

10月28日(土)・29日(日)、J A東京中央会主催の「第52回東京都農業祭」が東京国際フォーラムで開催されました。農畜産物共進会では本橋輝雄さん(石神井地区)が出品したキャベツ(YR藍宝)、荳莖晃一さん(大泉地区)が出品したカキ(太秋)が東京都知事賞を受賞したほか、管内生産者が出品した多くの農産物が上位入賞を果たしました。

また、10月27日(金)29日(日)の3日間、東京都などが主催する「東京味わいフェスタ2023」が都内4カ所で同時開催され、管内生産者も収穫体験イベント等で活躍しました。



04 NEWS

板橋地区青壮年部製作の宝船子育て世代に野菜を寄付

板橋区と板橋区社会福祉協議会は11月12日(日)、下赤塚地域センターで、「野菜宝船」の野菜を配りました。野菜宝船は同月11日・12日に行われた「第46回板橋農業まつり」に合わせ、板橋地区青壮年部が製作しました。協議会の職員は「子どもが印象的。地元で採れた野菜に興味を持って野菜を受け取っている様子があった経済的な支援が必要。多子、高齢農家、J Aに感謝したい」と話しました。



05 NEWS

特産キャベツを学校給食へ

野菜流通協議会は11月8日(水)と15日(水)の2日間、練馬区立の小・中学校に、一斉学校給食の食材としてブランドキャベツ「ねり丸キャベツ」約4.4トン(水)と15日(水)の2日間、練馬区立の小・中学校に、一斉学校給食の食材としてブランドキャベツ「ねり丸キャベツ」約4.4トンを納品しました。同会は毎年6月と11月、学校給食用に地場産キャベツを納品しています。キャベツは、学校の栄養教



06 NEWS

大泉新鮮直売組合 最新技術を視察

大泉新鮮直売組合は10月16日(月)、近年需要が高まっているイタリア野菜の栽培方法や、農業技術の知見向上などを目的とした視察研修会を行いました。生産者13人が参加し、「トキタ種苗(株)大利根研究農場」、「埼玉スカイテック(株)」の2カ所を訪れました。大利根研究農場では、イタリア野菜の品種説明を受けながら場内を視察し、埼玉スカイテックでは、ドローンによる農薬散布の実演を視察しました。田中聖晃組合長は、「ドローンには、自分で操作する機体や完全自動の機体など複数種類あり、作業が短時間で済むことなど、実際に見ることで分かることが多い。コストはかかるが、省力化の面も大きい」と話しました。



08 NEWS

J Aおきなわ研修団来訪

J A東京あおばは、10月30日(月)、本店でJ Aおきなわ研修団を迎え、意見交換を行いました。J Aおきなわとは昭和40年から交流をはじめ、互いの職員の研修団を派遣しあい、現地視察や情報交換を行ってきました。コロナ禍で一時的に中断された。今回4年ぶりに受け入れを行いました。意見交換では、互いのJ Aについて説明し、多岐にわたって活発な意見・質問が飛び交いました。その後、視察団は直売所「とれたて村石神井」や管内の畑を視察しました。久保秀一組合長は「コロナ禍が落ち着き、視察に来られた研修団の皆さまを歓迎いたします。今後とも互いのJ A



07 NEWS

4年ぶりに完全再開 練馬地区女性部文化展

練馬地区女性部は11月9日(木)・10日(金)、練馬春日町支店で文化展を開き、部員32人が257作品を出品しました。コロナ禍では中止、昨年は縮小開催でしたが、今年は4年ぶりに完全再開となりました。会場には、部員が自ら手作りした手芸・絵手紙・陶芸・フラワーアレンジメントなどの作品を展示し、会場中央には地場産の野菜や果物、切り花を使った「農の生け花」が飾られました。来場者は「素晴らしい作品が揃っていて、自分でも作りたくなった。ぜひ作り方も教えてほしい」と作品にとっても興味を示しました。加藤朝子部長は「女性部の一大イベントである文化展を開催することに、部員の活動の成果を披露できてよかった」と話しました。



第3期 NEXT AOBA PJ 始動しました!!

ネクストアオバプロジェクト



10月24日(火)、本店で「第3期 NEXT AOBA PJ(ネクストアオバプロジェクト)」発足式とキックオフミーティングを開き、久保秀一組合長がプロジェクトメンバーへ任命証を手渡しました。当JAでは、「人財育成・活力ある職場づくり」を掲げており、メンバーは立候補制で、部署横断的な10人が集まりました。

プロジェクトは、若手職員の新鮮な視点、柔軟かつ斬新な発想から生まれる現場目線のアイデアや意見を基に「明るいあおば」「元気なあおば」を実現し、自ら考え行動することで、経営への参画意識を高め、次世代を担う人財育成の一環とすることを目的としております。

石垣リーダーの意気込み



第3期NEXT AOBA PJ リーダー 人事部人事課 石垣 翔太郎

第3期NEXT AOBA PJにおいては、「明るいあおば」「元気なあおば」を実現するために、メンバー10人、一人ひとりが考え抜き、一致団結して取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。



JA東京あおばの「組合員」になりませんか?

組合員加入キャンペーン

実施中

募集期間 令和6年2月29日(木)まで

募集期間については、状況に応じ前後する場合があります。

期間中、JA東京あおばの「組合員」に新規加入された方に
JA東京あおばの直売所でも使える

農協全国商品券

1,000円(500円×2枚)分を
プレゼントいたします。



※農協全国商品券は、左記の取扱店ステッカーマークのあるJA農産物直売所等でご利用いただけます。詳しくは全国農業協同組合連合会の農協全国商品券のホームページでご確認ください。(http://www.zennoh.or.jp/bu/seikatu/gift/index.htm)



詳細は、JA東京あおばの各支店へお問い合わせください

中村橋支店・大泉支店・ ファーマーズショップこぐれ村が新しくなりました!

10月23日(月)、中村橋支店が新築リニューアルオープンしました。同支店は2021年8月まで今回新築された場所まで営業していましたが、新築工事中は旧豊玉支店の建物を仮店舗としていました。

12月11日(月)には、大泉支店・ファーマーズショップこぐれ村のグランドオープンセレモニーを開きました。大泉支店は、大泉地区の拠点支店として長年親しまれてきましたが、老朽化等の問題から今回建て替えに至りました。櫻井淳治支店長は「これから地域に根差し、親しまれる店舗をめざします」と話しました。同月16日(土)・17日(日)には、併設するファーマーズショップこぐれ村で記念イベントを開き、地元生産者が製作した野菜宝船が来店者を迎え、各日400人に記念品をプレゼントしました。



中村橋支店リニューアルオープニングセレモニー



大泉支店グランドオープンセレモニーとグランドオープンイベントの様子

練馬区農業委員会 会長就任祝賀会を開催



石神井地区蔬菜部会は10月16日(月)、第25期練馬区農業委員会会長に就任した尾崎賀一さん(石神井地区)の就任祝賀会を開き、組合員など30人が出席しました。

尾崎会長は「皆さまのご推薦をいただき、この度、第25期農業委員会会長に就任いたしました。農業委員会は、私たち農業者を代表する組織なので、皆さまのご指導をいただいで初めて前に進む組織です。様々なご意見をいただきながら、今後とも都市農業の発展に励みます」と話しました。



農業委員会は、法律に基づき区市町村に設置される行政委員会です。農地法に基づく売買や貸借の許可のほか、農地パトロールなどを実施し、都市農業の健全な保全に取り組んでいます。



見事に育った練馬大根!!



HAPPY

頑張って引っこ抜きました!



NICE

たくさんの競技者を前に開会宣言!!



位置について! ヨーイ (手を上げてー)



OK

しっかり準備体操月1、2、3、4月



OH!!

立派な練馬大根!!



GOOD

ヨイショ! ヨイショ!



NICE

みんなでハイチーズ!



特集

第17回練馬大根

引っこ抜き 競技大会 開催しました!



1本1本ていねいに洗います。ゴシゴシ!



Happy

家族でがんばりました!



とったぞー(笑)

380人ご参加ありがとうございました。

参加した皆さん、一生懸命頑張っていたダネ!



- ※1 3人同本数のため、大根の長い方を優勝としました。
- ※2 2つのグループが同一長さのため、同率で優勝としました。



結果詳細については、当JAホームページにも掲載しております。

当日は、晴天にも恵まれ、たくさんの皆さまにご参加いただきました。地域の皆さまのご協力により、大盛況のうちに閉会することができました。優勝した皆さま、おめでとうございます。

を競う選手権の部では、男性の部で12本を抜いた五十嵐健さん、女性の部で1本を抜いた三文字祥子さん(※1)が優勝しました。抜いた大根の長さを競うグループの部では、100cmの大物を引き抜いた遠藤亮輔さん、ならびに福地美夏さん(※2)のグループが優勝しました。

今回の大会には、選手権の部に118人、グループの部に70組262人の合計380人が競技に参加しました。制限時間内に抜いた本数を競う選手権の部では、男性の部で12本を抜いた五十嵐健さん、女性の部で1本を抜いた三文字祥子さん(※1)が優勝しました。抜いた大根の長さを競うグループの部では、100cmの大物を引き抜いた遠藤亮輔さん、ならびに福地美夏さん(※2)のグループが優勝しました。

結果発表

12月3日(日)、練馬区立高松みらいのはたけでJA東京あおばと練馬区は「第17回練馬大根引っこ抜き競技大会」を開催しました。練馬大根は他の大根に比べ根が長く、中太りで引っこ抜きにくいのが特徴です。大根の引き抜くスピードや長さを競うのがこの大会の醍醐味!! 9月の播種、10月の間引き作業は、ボランティアも参加して行われました。

今回引き抜いた練馬大根約4,300本は、翌日以降に練馬区内の全小中学校に学校給食用食材として納品され、大根おろしとツナを使った大人気の和風スパゲティ「練馬スパゲティ」をはじめ、栄養教諭や栄養士が考えた献立で、子どもたちの給食となりました。

令和5年度 これまでの取り組みのご報告

(令和5年11月末時点)

当JAは、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)ー令和4年度～令和6年度ーにおいて、3つの戦略「持続可能な都市農業の確立」、「対話運動を通じた組合員とのつながり強化」、「経営基盤の強化・人財育成」を基軸に、JA東京あおばの自己改革に取り組むとともに、組合員の皆さまのご意見・ご要望をJAの事業活動に反映しながら、組合員と共に歩む事業運営を行っています。

今回は、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の2年目となる、令和5年度のこれまでの主な取り組みについてご報告いたします。

第1の柱 農業振興計画 ー持続可能な都市農業の確立ー

農業者の所得増大に向けた営農指導の強化

農業者の所得増大に向け、振興渉外の訪問活動を強化しました。具体的には、農業者概況調査の実施、作付け計画の提案(果樹作付け、ジョイント栽培)や、農機修理・点検整備サービス利用の拡大(買替え提案を交えたサービスの継続)、農業者・事業者と連携した販路拡大(マルシェ等農産物販売会の提供および支援)に取り組みました。

【作付け提案戸数:8戸 農機修理新規利用件数:30件 マルシェ等農産物販売回数:23回】

支援等を行った主なイベント

- 4月 ・春季植木市(板橋区)
- 5月 ・練馬城址公園開園イベント(練馬区)
- 5月 ・春季植木市(板橋区)
- 5月 ・四季の香ローズガーデンマルシェ(練馬区)
- 6月 ・区立高松みらいのはたけマルシェ(練馬区)
- 7月 ・ブルーベリーPRイベント(練馬区)
- 10月 ・四季の香ローズガーデンマルシェ(練馬区)
- 10月 ・秋季植木市(板橋区)
- 10月 ・板橋農業まつり(板橋区)
- 11月 ・JA東京あおば農業祭(練馬区)
- 11月 ・ねりマルシェ(練馬区)



JA東京あおばの自己改革工程表 (令和5年11月末実績)

重点施策	成果指標・計画値			
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
都市農業の振興【農業者の所得増大】		実績	計画	計画
マルシェ等農産物販売会の支援	実績	計画	実績	計画
対象者:青壮年部員等	想定:売上増加効果	10回	13回	10回
3年間合計:30回	1団体売上 15万円/回	(支援29回)	(支援23回)	
肥料・農業を除く生産資材共同購入の実施	実績	計画	実績	計画
対象者:農業者	想定:コスト低減効果	4品目	0品目	4品目
3年間合計:10品目	1品目あたり平均10%低減	(平均11.4%低減)		
買取販売方式の導入	実績	計画	実績	計画
対象者:直売所出荷者	想定:売上増加効果	前年比	前年比	36%増加
各年度前年比10%増加	買取販売売上高 前年比10%増	17.2%増加	10%増加	(令和3年11月末対比) 10%増加

魅力ある直売所づくり

魅力ある直売所づくりに取り組み、6月・7月・11月に「直売所フェスタ」を開催しました。期間中は通常商品に加え、全国のJA選りすぐりの農産物、商品の販売を行ったほか、夏にはミニゲームや縁日を秋には駅弁の販売を行いました。



食と農を通じた豊かでくらしやすい地域づくり

「練馬区立高松みらいのはたけ※」にて、エダマメ、トウモロコシ、ミニトマト、ラッカセイ、練馬大根などの播種から収穫までの一連で体験できる「子ども向け農業体験事業」を実施し(13回)、12月には同園で「第17回練馬大根引っこ抜き競技大会」を開催しました。

また、福祉行政と連携した農業体験として「ひとり親家族収穫体験事業」を実施し、農福連携活動に取り組みました(3回)。

※当JAが練馬区から委託され管理を行っています。

第2の柱 組織基盤戦略 ー対話運動を通じた組合員とのつながり強化ー

組合員(正・准)との対話運動の展開

支店渉外担当者、振興渉外担当者による日常的な訪問活動を強化したほか、支部長会議(4月、6月、10月に合計12回)、組合員座談会(7月、8月に合計8回)を各地区開催しました。また、広報誌「あおば」を活用した准組合員アンケートを実施し、多数のご回答をいただくことができました。いただいたご意見やご要望は事業活動に反映するとともに、JA東京あおばの自己改革に取り組んでいます。



JA東京あおばの自己改革工程表 (令和5年11月末実績)

組合員とのつながり強化【対話・訪問活動】	令和5年度			
	令和4年度	計画	実績	計画
組合員(正・准)との対話運動の展開	実績	計画	実績	計画
組合員(正・准)加入運動の実施	3年後:組合員総数29,000人	27,316人	28,600人	29,000人
農業者訪問活動	対象農家:550戸(令和3年度基準)	502戸	全戸	196戸/445戸
				全戸

人財育成・活力ある職場づくり

専門性の高い職員を育成し、「何かあったらすぐJA」と組合員・地域の皆さまから「頼りにされる職員」をめざし、職員一人ひとりが働きがいをもてる、活力ある職場づくりに取り組んでいます。

当JAでは、組合員を講師に招いた勉強会の他、職員が講師となり勉強会を実施するなど、職員の資格取得の支援も行っています。



資格名	合格者
AFP・2級FP技能士	14人
日本農業技術検定2級	2人
金融AMLオフィサー(実践)	21人
内部管理責任者(証券外務員)	6人
毒物劇物取扱責任者	2人
令和5年度合格者数(11月末現在)	

JA東京あおばの自己改革工程表 (令和5年11月末実績)

人づくり・人財育成【組合員・職員教育】		令和4年度	令和5年度		令和6年度
次世代の組合員リーダーの育成		実績	計画	実績	計画
JA東京あおばカレッジの開講・運営	3年間合計: 12回	4回	6回	3回	2回
組合員から頼りにされる専門性の高い職員の育成		実績	計画	実績	計画
FP2級	3年後: 渉外担当者取得率80%	21.5%	60%	35%	80%
相続アドバイザー 2級	3年間合計: 20人	0人	12人	0人 (試験日: 令和6年3月3日予定)	8人
営農指導員	3年後: 新規取得6人	2人	2人	3人	2人
宅地建物取引士	3年後: 新規取得6人	4人	2人	0人	2人

いかがでしたでしょうか?今回は、当JAの主な取り組み(途中経過)をご報告いたしました。令和5年度も残すところ僅かとなりますが、計画達成に向けて全力で取り組んでまいります。また、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の最終年度となる令和6年度に向けて、組合員皆さまのご意見・ご要望を事業計画に反映し、策定してまいります。組合員の皆さまとの対話運動を通じてより良い事業運営ができるよう今後も努めてまいります。

第9次中期経営計画(農業振興計画含む)進捗管理について

当JAは、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の進捗管理として、各部門の課長クラスを中心とした進捗会議を行っています。四半期に一度、進捗状況を数値化し、見える化したうえで進捗確認を行い、情報の共有を図っています。また、進捗会議で出た意見等を修正・改善し、常勤役員・部室長による全体会議を開催し、半期ごとに理事会へ報告を行いながら進捗管理に努めています。



JA東京あおばは、組合員・利用者皆さまの声を誠実に受け止めます。

JA東京あおばでは、組合員・利用者皆さまにご満足いただけますよう日頃から心がけておりますが、当JAの事業・活動について、ご意見ご要望等がございましたら、下記の窓口にて受け付けておりますので、お気軽にお申し出ください。

経営企画部 経営企画課 TEL.03-5372-1312

受付時間 月～金曜日(土日祝日を除く)
午前9時～午後5時

当JAに関する情報はこちらのホームページでご覧になれます。
検索 JA東京あおば <https://www.ja-tokyoaoba.or.jp/>



組合員組織の基盤強化

JAの活動主体である各組織部会への加入を促進するとともに、青壮年部や女性部をはじめとした各部会の支援を継続的に行いました。

また、一戸複数組合員制による正組合員加入や、地域の農業振興を応援する准組合員の加入促進運動を実施しております。組合員新規加入キャンペーンは令和6年2月末まで実施いたします。

正・准組合員新規加入数(令和5年11月末現在)

正組合員 50人 准組合員 499人



組合員新規加入
キャンペーンの
詳細はこちら↓



第3の柱 経営基盤戦略 - 経営基盤の強化・人財育成 -

事業運営の見直しによる効率化・合理化

支店再編計画に基づき下記のとおり支店再編をすすめています。

支店名	日付	
大泉支店	6月19日(月)	新築移転オープン
高松支店	8月18日(金)	練馬春日町支店へ統合
中村橋支店	10月23日(月)	新築移転オープン
西大泉支店	12月8日(金)	大泉支店へ統合 (大泉支店グランドオープン)
東大泉支店	3月15日(金)	大泉支店へ統合予定



JA東京あおばの自己改革工程表 (令和5年11月末実績)

経営基盤の確立・強化		令和4年度	令和5年度		令和6年度
支店再編方針に基づく第1期・2期支店再編計画の実践		実績	計画	実績	計画
令和6年度	14支店を9支店へ集約	13支店	13→10支店	11支店	10→9支店
売れる直売所に向けた運営体制強化		実績	計画	実績	計画
令和6年度	令和3年度対比(3年後: 10%増加)	6.4%減少	6%増加	7.2%減少 (令和3年11月末対比)	10%増加
農業資金をはじめとした各種事業資金等の積極的な展開		実績	計画	実績	計画
令和6年度	融資残高の伸長(3年後: 1,660億円)	1,576億円	1,620億円	1,632億円	1,660億円
組合員・地域の皆さまのニーズに応じた、金融商品の提供		実績	計画	実績	計画
令和6年度	貯金残高の伸長(3年後: 5,150億円)	5,112億円	5,130億円	5,130億円	5,150億円

代々続く土地で 地域に喜ばれる 品質を

「地元地域に愛される
歯医者さんと農家の二刀流」



農の現場

都市農業の未来を探る

108

板橋区赤塚

かねこ かずまさ
金子 和正さん

「歯科医師となることが夢で、農家になるつもりではなかった」そう話すのは、金子和正さん(62)。金子家は板橋区赤塚で約300年続く農業を営み、金子さんが14代目となる。代々、練馬大根の生産、たくあん漬物の製造販売を行っており、戦前から江戸日本橋方面へ販売し、幼少期にはまだその面影が残っていた。時代の変化とともにその規模は縮小し、父親の代には、カキなど果樹栽培も取り入れたという。現在は、約5.3a(530㎡)のカキ園で、「富有」をメインに、「太秋」「百奴」「鶴柿」など様々な種類を栽培している。また、金子さん夫婦は地元地域に愛されている歯科医院も経営しており、農家と歯科医師の二刀流で活躍している。

農家になることを考えていなかったのに、なぜ、農業を継ぐことになったのか。それは、「金子家への想いの深さ」だと感じられた。取材の際には、江戸時代から姿が変わらない母屋、漬物生産を終えた数多くの漬物石、歴史のある石像など、金子さんが代々、言い伝えられてきた当時の話なども交えながら、丁寧に話をしてくださった。そこには「金子家の歴史を簡単に絶やしてはいけない」という気持ちがあふれていた。

実際に、農業を継ぐきっかけは「今から約15年前、父親も高齢となり、代々続いてきた金子家の地元地域とのつながりに思いを巡らせるようになって

た。カキの栽培をやめてしまうと、これまで毎年、カキを楽しみにしていたお客様に申し訳ない」という気持ち芽生えたのだという。日中は、歯科医院も継続しているため、農作業に充てられる時間は休みの日や、診療開始前に限られる。「就農当初、農業の知識は皆無で、知識を持っていた父親や叔父の背中を見て真似た。それでもわからない時は、インターネットなどで情報収集をし、独自に研究した」と就農当初の苦労を話した。実際に農園を見ると、しっかりと管理の行き届いたカキ園が広がっており、医師ならではの理学を応用した成育方法や正確な仕事が、農作業や農園の管理にも表れているのだと感じた。

カキの栽培について尋ねると「リピーターの方に満足してもらおう品質確保のため、必要最低限の※防除は行っている。ただ、住宅街にあるため、地域住民や通行人に迷惑をかけないように自身で作成したチラシを事前に配布し、防除実施日をお知らせしている」と金子さんが地元地域への配慮を心がけている姿は、都市農業ならではの工夫に見えた。

「自分なりに、歯科医院と農業を両立させ、お客様にいつまでもおいしいカキを味わってもらいたい」と今後の展望を話す金子さん。毎年、遠方からも買いに来られる方がいるほど人気のカキには、医師ならではの丁寧で正確な仕事、来園されるお客様への感謝、代々続いてきた金子家への愛情など様々な想いや技術が詰まって、おいしさの基となっているに違いない。

※病害虫などの予防と駆除



昔、漬物生産で活躍した漬物石



昔の面影を残す母屋



地域に愛される金子歯科医院



遠方からも買いに来るほど人気のあるカキ



金子家昭和8年の天日干しの様子

ジャガイモのトンネルマルチ栽培

1月に畝を準備しハウレンソウをまく

ジャガイモは暑くなる前に栽培した方が良いと言われます。とはいえ、霜が降れば葉が真っ黒になって枯れます。そこでトンネルマルチ栽培をします。

1月中頃に畝を立てます。1平方メートルあたり堆肥3kg、ボカシ肥料300g、草木灰または炭化有機100gを全面散布して表層に混ぜ合わせ畝を立てます。畝幅は70cm、中央は5cmぐらい高くします。穴なしの黒マルチを張ります。黒でもなくても光を通さないものならOKです。ジャガイモは1月中旬に種芋を買っておきますが、植え付けるのは2月です。1月には畝立をし、すぐマルチの中央に15cm間隔で穴を開け、冬用の



1月、穴なしの黒マルチを張り中央にハウレンソウをまく

品種のハウレンソウを1穴4〜5粒ずつまきます。すぐにポリトンネルをかけます。穴あきポリならそのまま、穴なしなら換気穴を適当にハサミで開けます。ハウレンソウの収穫は3月になります。

ジャガイモを植える

ジャガイモはポピュラーな男爵、キタアカリ、メークインなどのほか、ピルカなどの品種を選びます。3月を待たず2月中旬に植えます。マルチの中央にハウレンソウの芽が出ています。両側に30cm間隔でカッターなどで長さ10cmぐらいの切り込みを入れます。鶏卵大の種芋なら丸ごとマルチの切れ込みから入れ、上がマルチの表面に来るまで押し込みます。大きな種芋の場合は、臍の部分から切って4〜5日乾かしておくか、すぐ植えるなら草木灰を切り口につけると腐りにくくなります。



切った種芋の切り口は数日乾かすか、すぐ植える時は草木灰をつける

逆さ植えて芽かき軽減

切った種芋は一般的には切り口を下にしますが、切り口を上にしてマルチ内に入れ、切り口がマルチ面と同じになるまで押し込みます。逆さ植えにすると、Uターンして強い芽が出てくるので、芽かき作業が軽減されます。



2月、カッターで切り込みを入れ種芋を畝に押し込む。中央にハウレンソウの芽が見える

ハウレンソウ収穫とジャガイモ芽かき

3月中旬になるとハウレンソウが収穫時期を迎えます。株元をハサミで切って収穫します。ちょうどその頃、ジャガイモの芽が出てきます。1穴に2〜3本太い芽を残し、その他の細い芽はかき取ります。1株1本にすると大きな芋ができる傾向があります。3月いっぱい霜除けのため、ポリトンネルはかけたままにします。4月になれば暑い日もあるのでポリトンネルは除去します。



3月、中央のハウレンソウが収穫になり、ジャガイモの芽も出る

土寄せは不要

普通栽培では生育途中の管理として土寄せ、追肥などの管理が必要ですが、マルチ栽培では不要です。芽かき後の管理がほとんどないのがマルチ栽培の利点です。追肥をしたかと思えば液肥をかけるぐらいで良いでしょう。

マルチ栽培の方の収量が多かった

農大グリーンアカデミーで講師をしていた頃、普通栽培とマルチ栽培の比較をしたことがありましたが、マルチ栽培の方が1・5倍多く収穫できた記録があります。途中からの手間もかからず、たくさん取れるマルチ栽培はオススメです。

収穫



6月、マルチを剥くとジャガイモが浅いところにできている



円陣を組んで芋がある掘らずに拾う感じで収穫

5月末ごろからキタアカリなど早生品種の収穫が始まります。下葉が黄色くなる頃が収穫の目印です。マルチの上から芋を確認したら試し掘りしてから収穫しましょう。6月にはほとんど収穫できます。本格的な収穫は、株元で茎葉を切り離し、マルチを剥がします。そこには芋が円陣を組んで見えるか、見えなくてもごく浅いところに芋ができています。マルチ栽培では芋掘りではなく、芋拾いの簡単に収穫できます。



ふくだ とし
福田 俊

プロフィール

1972年 東京農工大学農学科卒。
2005年 協和種苗(株)退職。
2011~2022年 東京農業大学グリーンアカデミー講師。サラリーマン時代より貸し農園での野菜づくりを研究。
2012年~ 「日本農業新聞」で「フクダ流」を連載中。



ピルカは洗うとこんなにきれい



たくさん採れた男爵



細長いのが特徴のメークイン



今が旬の春菊！
ちよつとひと工夫でいつもと違った
おいしさを！

みなさん、こんにちは！きじまりゅうたです。
JA東京あおば直売所には、新鮮で立派に育った、今が旬の春菊が出荷されています。春菊は、黄色の花を咲かせ、葉が「菊」に似ていることから「シユンギク」という名がつけられました。今回はビタミン、ミネラルが豊富な春菊を使ったレシピをご紹介します。

実は春菊は生で食べても美味しいです。加熱するより、独特のクセが感じづらいので、春菊が苦手なお子さんにもおススメ。また定番の春菊のかき揚げも、甘いチリソースをかけることでいつもと違った味わいになります。ぜひ、直売所で春菊を買って、お試しください。

プロフィール

豊島区（JA東京あおば管内）に生まれ育った料理研究家。料理研究家の祖母・故村上昭子氏、母・杵島直美氏という家庭に育ち、幼い頃から料理に親しむ。母のアシスタントを務めた後、独立。伝統の味を継承しながらも、若い男性の感性を生かしたレシピが大人気。NHK「きじまりゅうたの小腹すいてませんか？」「あさいち」きょうの料理」など多数メディアに出演中。



RECIPE

作りおき

春菊の茎ドレッシングと春菊サラダ

材料 2人分

春菊の茎 1束分
春菊の葉 適量
水菜 適量

A
オリーブオイル 大さじ2
粒マスタード 大さじ1
酢 大さじ1
砂糖 小さじ1
塩 小さじ1/2

作り方

- ① 春菊は葉を摘んで茎と分ける。
- ② 春菊の茎を2~3mm幅の小口切りにしてAを混ぜてドレッシングを作る。
- ③ 春菊の葉と水菜を4cm長さに切り、水にさらして水気を切る。
- ④ 野菜を皿に盛り、ドレッシングをかける。

これまでご紹介したレシピを
JA東京あおばのホームページで
紹介しています。 ▶▶▶



RECIPE

メイン

春菊のかき揚げと 自家製スイートチリソース

材料 2人分

春菊 100g 揚げ油 適量
玉ねぎ 1/4個 小麦粉 大さじ1

A
はちみつ 大さじ2
酢 大さじ1
ケチャップ 小さじ1/2
塩 小さじ1/2
おろしニンニク 小さじ1/4
一味唐辛子 少々

B
小麦粉 大さじ4
片栗粉 大さじ1
水 大さじ3

作り方

- ① Aを混ぜてスイートチリソースを作る。
Bを混ぜて衣を作る。
- ② 揚げ油を中温に熱しておく。
- ③ 春菊を4cmの長さに、玉ねぎを繊維と平行にごく薄切りにする。
- ④ 野菜をボウルに入れて小麦粉：大さじ1を混ぜ、Bをボウルに入れてざっくりと混ぜる。
- ⑤ 揚げ油に4等分して入れ、カリッとするまで揚げる。
- ⑥ 油を切って器に盛り、スイートチリソースを添える。



東大泉支店

ご利用のお客様へ

継承店舗のご案内

令和6年3月15日(金)をもちまして廃店となり、大泉支店での営業となります。

大泉支店 大泉学園町2-12-17
電話 03-3925-3111

令和6年3月15日(金)の正午より、窓口・ATMは休止となります。

窓口	正午まで営業	9:00より大泉支店で営業
ATM	正午より休止	8:45よりご利用可能
3月15日(金)	3月16日(土)	3月17日(日)
3月18日(月)	終日休止	終日休止

スマホアプリから、口座残高がすぐ確認できる。

JAバンクアプリ

アプリのダウンロードはこちらから
<https://www.jabank.org/app/>



廃止店舗 東大泉支店 東大泉支店ご利用のお客様へ

令和6年3月15日(金)の正午までの営業となります。ただし、ATMは令和6年3月18日(月)午前8時45分より当面の間、引き続きご利用いただけます。

税務・法律相談のご案内

お気軽にご相談ください

無料予約制 ご予約は各相談日の前営業日の午後3時までとさせていただきます。※相談日が祝・祭日の場合は、店舗にお問い合わせください。

練馬春日町支店

税務相談
ランドマーク税理士法人
毎週木曜日/9時~12時
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第2金曜日/9時~12時



所在地 練馬区春日町1-17-34 TEL.03-3999-1451

東京協同サービス(株) 平和台支店

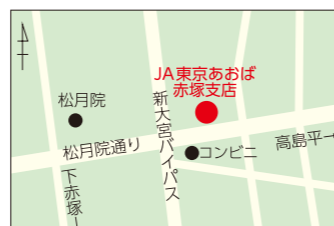
税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第1・第4土曜日/9時~16時



所在地 練馬区早宮2-17-50 平和台S TビルⅡ TEL.03-3931-6051

赤塚支店

税務相談
ランドマーク税理士法人
毎月第1・第3火曜日/10時~16時
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第2木曜日/13時~16時



所在地 板橋区四葉2-8-3 TEL.03-3930-0115

石神井支店

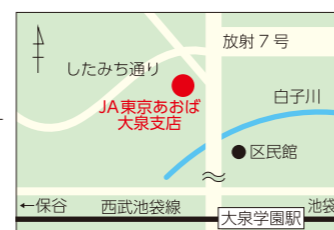
税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第2火曜日/13時~16時
ランドマーク税理士法人
毎月第3水曜日/13時30分~15時30分
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第2月曜日/13時~16時



所在地 練馬区石神井町5-11-7 TEL.03-3995-4121

大泉支店

税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第2火曜日/9時~12時
ランドマーク税理士法人
毎週木曜日/13時30分~15時30分
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第3火曜日/9時~16時



所在地 練馬区大泉学園町2-12-17 TEL.03-3925-3111

身近に発見! 新鮮!庭先お買い物MAP

本企画は庭先直売所を紹介するコーナー。ぜひ身近に感じてお出かけください!



今回は大泉学園町エリアをクローズアップダネ。戦前からこの地に大学を誘致する予定で、「学園町」と命名したが、残念ながら大学は誘致できずに名称だけ残ることになったそうダネ。地図をたよりに、大泉の新鮮な農産物を召し上がれダネ。



1 (株)山口トマト農場 (山口 卓さん)

住所 大泉学園町2-23-56
時間(目安) 8:30~無くなり次第終了
販売品目 トマト



2 かとちゃんファーム (加藤 和雄さん)

住所 大泉学園町2-27-59 大泉学園町3-18
時間(目安) 10:00~17:00
販売品目 オクラ、カリフラワー、キャベツ、キュウリ、トマト、ネギ、ナス、ピーマン、ブロッコリーほか



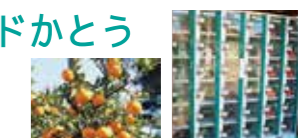
3 小美濃農園 (小美濃 敏夫さん)

住所 大泉学園町3-3-11
時間(目安) 11:00~無くなり次第終了
販売品目 エダマメ、キャベツ、コカブ、ダイコン、ニンジン、ブロッコリー、ホウレンソウほか



4 ベリーワールドかとう (加藤 政好さん)

住所 大泉学園町5-20-18
時間(目安) 9:30~17:00
販売品目 エダマメ、キャベツ、キュウリ、ジャガイモ、ダイコン、トマト、ホウレンソウ、イチジク、キウイフルーツ、ブルーベリー、カキほか



5 テルファーム (加藤 直輝さん)

住所 大泉学園町3-17-72
時間(目安) 8:00~20:00
販売品目 トマト



5 ファーム大泉学園 (加藤 直正さん)

住所 大泉学園町3-17-72
時間(目安) 9:00~19:00
販売品目 エダマメ、カボチャ、カリフラワー、キャベツ、ジャガイモ、ダイコン、トマト、ブロッコリー、ブルーベリー、ハチミツほか



6 おおいずみ加藤ファーム (加藤 晴久さん)

住所 大泉学園町5-32
時間(目安) 9:30~11:00まで対面販売 その後はロッカー販売
販売品目 エダマメ、キャベツ、ジャガイモ、スイートコーン、ダイコン、トマト、ニンジン、ハクサイ、ブロッコリーほか



7 瀧島農園 (瀧島 規秀さん)

住所 西大泉4-23-21
時間(目安) 8:00~16:00
販売品目 エダマメ、カブ、キャベツ、ジャガイモ、スイートコーン、ダイコン、ニンジン、ハクサイ、ピーマン、ホウレンソウほか



読んで、アンケートに答えて すてきなプレゼントをもらおう!!

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。
※クロスワードの解答は任意です。



プレゼント応募締め切り2月29日(木)必着

読者プレゼント

- 各支店の窓口ポストに応募用紙投函(無料)
- 63円切手を貼って郵送
- 専用webフォームからも応募できます▶▶



応募要項

氏名・ふりがな・年齢・住所・電話番号・取引支店名・JAと本誌へのご意見やご感想、地域の話、楽しいお話、俳句など、自由にお書き添えのうえ応募ください。なお、ペンネーム、匿名を可としますが、本名の明記を必ずお願いします。抽選で5名様にプレゼントいたします。

個人情報等の取り扱いについて 応募いただきました応募用紙等の個人情報・記載内容は、当JA広報活動の目的以外では使用いたしません。

プレゼント

(イメージ)



5名様 ※色や種類はお選びいただけません。

JA東京あおば管内で育てられた季節のお花セット



follow me

直売所の最新情報は
Instagramでも発信中!!

JA東京あおば
(jatokyoaoba)



とれたて村石神井
(toretatemurasyakujii_aoba)



総合園芸センター
ふれあいの里
(fureainosato_aoba)



板橋地区
アグリセンター
(itabashi_agri_aoba)



練馬地区
アグリセンター
(nerima_agri_aoba)



ファーマーズショップ
にりん草
(nirinsou_aoba)



ファーマーズショップ
こぐれ村
(koguremura_aoba)



編集後記

新年あけましておめでとうございます。
昨年は新型コロナウイルスが5類に移行されたこともあり、暮れの時期は忘年会など人が集まる機会が以前のように戻り、胃腸のお世話になった方もいるのではないのでしょうか? 新たな生活様式になり良い面もありますが、人と人がふれ合い、繋がっていることを実感できる機会は無くならないでほしいと思います。
さて、「一年の計は元旦にあり」と言われますが、皆さまは今年一年をどの様な一年にしようかと目標を立てたでしょうか? 私は健康のために「一日一万歩」を目標に掲げました。今年も食品を含めた様々な商品物価高に悩むことになりそうですが、そんな時こそ「地産地消」で、板橋産・練馬産の新鮮な野菜を食べて元気に乗り切っていきましょう。それでは、本年も皆さまにとって素晴らしい年となりますように。
また、令和6年も当JAをよろしくお願ひ申し上げます。

(広報委員 宗像)

前号の答え

カラスウリ



たくさんのご応募
ありがとうございました。

当選者はプレゼントの発送をもって
発表にかえさせていただきます。

読者のひろば

あおばの表紙の絵が毎号新鮮
で素晴らしいです。

from A.Kさん

練馬春日町支店

支店も改装され職員の
意気込みに感心し
ました。

from あずみさん

中村橋支店

混んでいるとき、事務処理をス
ムーズにしてほしい。

from K.Yさん

中村橋支店

窓口の職員の方々、いつ
も優しく親切にお話して
くださり、ありがとうございます。

from カナブンさん

桜台支店

もっと直売所を増
やしてほしい。

from I.Yさん

田柄支店

積立の集金をお願い
していますが、
対応がよく助かっ
ています。

From T.Mさん

平和台支店

野菜の種類をもっ
と多く店に並べて
ほしい。

from R.Kさん

石神井支店

「広報誌」あおばを毎
回ほしい。クロスワ
ード大好きです。

from Y.Sさん

関町支店

「あおば」の内容は充
実して読み応えがあり
ます。楽しみにしてい
ます。

from のんびりまますん

大泉支店

年金感謝デーで頂いたお花は
すぐに大鉢に植え替え大事に
育てています。

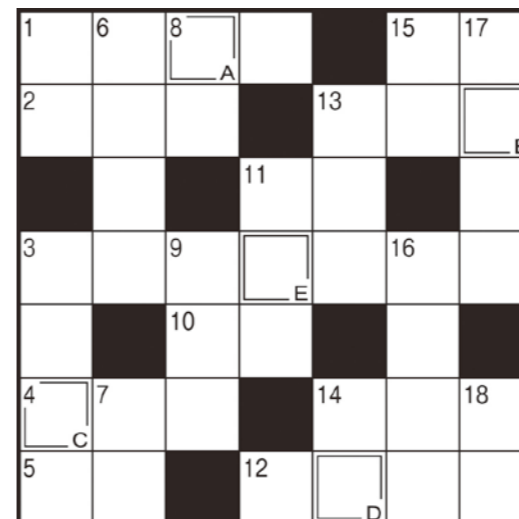
from N.Tさん

東大泉支店

クロスワードに 挑戦!

二重マスの文字を A~E の順に
並べてできる言葉は何でしょうか?

出題●ニコリ



ヨコのカギ

- 1 サンタがプレゼントを入れます
- 2 パパー、ママ、どこー?
- 3 欧米のクリスマスには、この鳥の丸焼きがよく食べられます
- 4 大好きな歌手の——を見に行った
- 5 レンコンは根のように見えますが、実はこれ
- 10 「海のミルク」と呼ばれる貝
- 11 除夜の鐘を突けるところもあります
- 12 水や砂と混ぜコンクリートを作ります
- 13 サハラ、タクラマカンといえば
- 14 刃物で紙を加工して描きます
- 15 冬の京都市は——冷えるといわれます

タテのカギ

- 1 冬眠するものも多い大型の哺乳類
- 3 謎の多い浮世絵師、東洲斎——
- 6 その月の一番最初の日
- 7 寒い日に吐くと白く見えることも
- 8 授業中は慎んでくださいね
- 9 ワカメの根元に近い部分
- 11 ——予報によると来週は寒いらしい
- 13 建物が立っていない宅地
- 14 ——の細かい滑らかな肌
- 15 年越しに付きものの種類
- 16 チン!と鳴らすと人が来ます
- 17 1号は東京と大阪を、2号は大阪と福岡を結びます
- 18 年賀状のイラストによく使われます。令和6年は「辰」です

答えは次号でお知らせ!



練馬



青壮年部 活動紹介

練馬地区青壮年部の
活動をご紹介します!!



こんにちは！練馬地区青壮年部です。現在83人の盟友が活動しています。練馬地区青壮年部では、毎月「感謝デー」へ野菜や花の提供、農業祭への参加、明治神宮への夏野菜の奉納、練馬区役所の農産物自動販売機への納品、地元マルシェへの参加、地元小中学校への出前授業など、幅広く活動しています。また、一大イベントである明治神宮の新嘗祭(にいねめさい)では、部員が心をこめて野菜宝船を製作し奉納しています。このほか、先進地視察、農作業の実習、生産履歴の講習などを開催し、知識や技術向上にも力を入れています。



青壮年部には様々な志を持った部員がいます。農業に興味のある方、都市農業をもっと盛り上げたい方、青壮年部活動に興味を持っていただけの方は、ぜひ事務局までお声がけください。

問い合わせ先

JA 東京あおば青壮年組織協議会事務局（地域振興部農業振興課）
電話 :03-5910-3066（平日 9時～17時）

女性部のここがGood!! 生voice!!

T.N さん 他地域のお友達がたくさんできました。フラダンスなど体験できて楽しかったです。

C.K さん お友達がたくさん増えて人生が楽しくなりました。入部してよかったです。

H.Y さん ご縁あって板橋に嫁いだ私ですが、お盆やお彼岸など地元それぞれの慣習があります。世代を超えて、人生の先輩方とお話をしていると反省はしても、後悔の少ない生活の日々を送ることができるような気がします。

E.T さん 手芸、お花、フラダンス、料理等サークル活動に参加して作品ができたり、他の地域の方とお話するのが楽しみです。

T.S さん 運営委員会での活動、旅行や絵手紙、手芸等に参加して楽しい思い出ができました。

活動紹介

10月～12月
女性部
大活躍!!



秋は女性部にとって活動が盛んな時期です！写真は、JA東京あおば農業祭用に「たねりん」の焼き印入りの「田舎まんじゅう」作りの様子。当日は、即売するほど人気でした！

学ぼう。遊ぼう。 楽しもう。

新メンバー大募集!!

JA東京あおば女性部



今回は、練馬地区女性部の文化展の様子をクローズアップ。年1回、部員の皆さんが作品を披露する場となっています。心のこもった作品が数多く並びました。

問い合わせ先

J A 東京あおば女性組織協議会事務局（地域振興部農業振興課）
電話 :03-5910-3066（平日 9時～17時）

